

市民ワークショップ報告書

令和6年11月
菊池市 政策企画部 市長公室
公益財団法人 地方経済総合研究所

目次

1	第1回ワークショップ開催概要	スライド№ 3
2	第1回グループ発表	スライド№ 4
3	第1回自由コメント分析	スライド№ 15
4	第1回ワークショップまとめ	スライド№ 17
5	第2回ワークショップ開催概要	スライド№ 18
6	第2回グループ発表	スライド№ 19

1. 第1回ワークショップ開催概要

第1回

開催日時	10/20(日) 10:00～12:00	10/20(日) 14:00～16:00	10/27(日) 10:00～12:00	10/27(日) 14:00～16:00
場所	泗水公民館	菊池市役所	旭志公民館	七城公民館
参加人数	31名	29名	27名	16名
内容	(1)SDGsについて (2)2030SDGsゲーム体験 (3)振り返り (4)未来の菊池市を考える ①市民目線で、未来の菊池市の「 ありたい姿 」を考える ②明日から取り組むことを考える			

3

2. 第1回グループ発表 (1)泗水公民館 1/2

①10年後、どんなまちに住みたいですか？に対するグループ発表

・**自然豊かで暮らしやすい**まち。SDGsは世界で必要。



・**高齢者になってもコミュニティが充実し、日常生活が不便と感**じないような社会であると良い。

・**介護保険の恩恵を受けられない人でもずっと生きていけることができる福祉**のまち。

・子育て環境について、**親子がともに過ごせる時間を保てるような配慮**ができるまち。産声をあげてから鬼籍に入るまで平穏な生活ができ、争い無く常に笑顔でいられるまち。菊池市が元気になるためには、**旧4地域、また各集落が元気**にならないといけない。そのための援助が必要。将来不安があると行動が制限される。菊池市内どこに住んでいても**教育、医療・福祉サービスが安心して受けられる**まちにしたい。

4

2. 第1回グループ発表 (1) 泗水公民館 2/2

②「ありたい姿」実現のために明日からなにをしますか？に対するグループ発表

- ・自然豊かな環境の中で仕事だけでない夢のある暮らしをしたい。そのために、まずは自分から行動を起こして、家族や友達などを幸せにできるように行動したい。
- ・空き家活用などにより自然破壊をせずに発展するまち。ごみもなく水もきれいで農作物もある誰にとっても過ごしやすいまちを作りたい。外国人居住者も増えているのでお互いに分かり合えるまちを目指したい。身近なボランティアに参加する、ご飯を残さない、近所づきあいを大切にし、コミュニケーションをとるなどをやっていきたい。
- ・周りの企業との協力の視点で、余っている資材を共有するなどができるまちにしていきたい。今後、助け合いの精神を持って、自社で余裕ある資源を他社に融通するなどやっていきたい。
- ・普段やっている行動がどのようにSDGsにつながっているかを考えていきたい。

2. 第1回グループ発表 (2) 菊池市役所 (1/5)

①10年後、どんなまちに住みたいですか？に対するグループ発表

- ・豊かな自然があり、地域の人と人のつながりがあるまち。
- ・高齢者が笑顔で過ごせ、子どもの元気な声が聞こえるまち。
- ・若い人も後継者として残るまちであってほしい。
- ・自然環境を大事にして、工業化、商業化が進む中で農業を大事にしたまちにしたい。
- ・環境保護を大事にして子どもから大人までみんなが幸福を感じられるまち。
- ・多文化共生ですべての人が幸せを感じられるまちにしたい。
- ・明るく活気のあるまち、自然豊か、幸福感の得られるまち。
- ・子どもたちを中心に市民が安心して暮らせるまち。
- ・自然が豊かで人とのつながりがあり、安全安心な環境が整ったまち。
- ・仕事がないと若い人が出ていく。仕事があるまちにしたい。



2. 第1回グループ発表 (2) 菊池市役所 (2/5)

①10年後、どんなまちに住みたいですか？に対するグループ発表

- ・経済、環境、社会のすべての調和がとれたまちにしたい。
- ・一人ひとりが安心して暮らせる場所があるまち。
- ・お互いの声を聞く余裕ある心が育つまち。
- ・高齢者や子どもたちが安心して暮らせるまち。
- ・温泉や観光施設を整備してもらい、他所から足を運んでもらうまちにしたい。
- ・経済発展をしてほしいが環境社会も守っていききたい。
- ・おいしい水が将来も飲めるまちにしたい。
- ・10年後も十分な福祉サービスが受けられるまちにしたい。
- ・子どもが楽しく過ごせるように、自然にあふれ動物たちと共存しながら、安心して人とも信じあいながら暮らせるまち。豊かな自然を残しながら経済もバランスよく発展したまちになってほしい。



2. 第1回グループ発表 (2) 菊池市役所 (3/5)

②「ありたい姿」実現のために明日からなにをしますか？に対するグループ発表

- ・自分が住んでいるまちのSDGsを調べてそれを意識して行動したい。ごみの分別や環境にいいことをやっていく。
- ・経済環境社会のバランスをみるのが大事と学んだので、自分のことばかり主張せずほかの人の意見を聞いて助け合いたい。
- ・環境に配慮した生活をしていきたい。食品ロスを控える、買い物袋をリサイクルする、地域のコミュニティ活動に積極的に参加する。子どもたちのボランティアにも出ていく。高齢者が暮らしやすいような配慮の視点を持ちながら生活したい。
- ・子どもと学校のつながりを大切にして、子どもを見守っていく。学びを広げることで地域に貢献する。
- ・縦のつながりの仕組みを大切にしたい。
- ・子どもたちが安心して食べられる給食をこれからも作っていききたい。
- ・無駄遣いをやめる、環境に配慮してごみの分別をするなどからやっていきたい。
- ・投票に行く。

2. 第1回グループ発表 (2) 菊池市役所 (4/5)

②「ありたい姿」実現のために明日からなにをしますか？に対するグループ発表

- ・地域に役立つことをしっかり考えて実行する。
- ・**地産地消**、地域でとれた農作物を地域で消費する。
- ・地域のことを正しく理解する、行動に移す前にまず**菊池がどのような場所なのか理解**していきたい。
- ・班長会議やレクレーションの実施。
- ・ゴミ分別の徹底。
- ・挨拶をする。
- ・コンポストで**生ごみを堆肥**にして農作物に与える。
- ・自分の**体力づくり**をする。
- ・夫婦円満。



2. 第1回グループ発表 (2) 菊池市役所 (5/5)

②「ありたい姿」実現のために明日からなにをしますか？に対するグループ発表

- ・地域課題解決と多文化共生を推進するNPOを目指しているが、運営に難しさを感じている。運営者間で仲良くやっていきたい。
- ・借りた畑(耕作放棄地)で農業をする。
- ・民生児童委員の仕事と、観光の活動をする。
- ・**高齢者のサロン活動**など**自分ができることを地域で請け負って責任もってやっていく**。
- ・大学就職で34年間離れていたが昨年戻ってきた。市内を見渡すと以前とはずいぶん変わって良くなっていると感じる。これからも自分ができることをやっていきたい。嘘をつかない、悪いことをしないなど当たり前のことを当たり前にやれる社会にしたい。
- ・菊池に生まれ育ってよかったと感じている。**子どもたちにもそのように育ってもらいたい**。

2. 第1回グループ発表 (3)旭志公民館 (1/2)

①10年後、どんなまちに住みたいですか？に対するグループ発表

- ・経済環境社会のバランスがとれているまち。
- ・**多様性**を認める。その人がその人らしく生きられる町。
- ・わくわくする町へ。今は横のつながりやにぎわいがないので、もっと欲しい。
- ・**安全、安心、災害が少ないこと。次世代につなぐこと。子どもたちが歴史、文化に目を向けるための工夫が必要。SDGsを学ぶ中で、大人やお隣の人と話す機会を設けること。**子供たちに**菊池の自然の良さ**に目を向けてもらいたい。
- ・若い人が地元に残らない。**若い人が残る、子育てしやすいまち。雇用と住環境が必要。**
- ・TSMCで人口増えるかもしれない。移住者ともめ事がないように安全安心なまちにしたい。
- ・高齢者になったとき、都会に人が集まるのは**公共交通**があるから。高齢者でも車が無いと困る。EVバスとか水素バスを走らせて、大津町までスムーズに行けると良い。次世代の交通機関の在り方を考える必要がある。人が増えれば、税収上がる。お金があれば、新しいことに着手しやすくなる。



2. 第1回グループ発表 (3)旭志公民館 (2/2)

②「ありたい姿」実現のために明日からなにをしますか？に対するグループ発表

- ・**コミュニケーション**を取りながら見渡して行動すること。地域の方とあいさつ、お互いのことを知っていくこと。
- ・時間の大切さ。どのように時間を使っていくかが大事。そしてお互いに心が通じていること。目標に向かって心の訓練をしていく。**登山道に通じる道を作っていく。**国や市だけでなく地域でも出資して、**川もきれいにする。**災害時の避難訓練も欠かせない。交通について、菊池市の便利が良い箇所にはバスはあるが、そうでない場所は走っていないので市外に出られない。そのような地域にべんりカーを回してほしい。予算がないと言わないでほしい。地域間のつながりが薄い。それを濃くするために、横のつながりが欲しい。
- ・**道路の環境改善。**若手の人口減っていくなかで、経済、環境、社会が維持できるよう知恵を出しながら進めていく。
- ・**人と人とのつながり**が強いまちにする。地域への協力を惜しまずに協力していく。
- ・近所づきあいがあれば、犯罪は少なくなる。地域のことを知ること。積極的に今日のワークショップの内容を家族に話す、コミュニケーションをとることが大事。自分優先ではなく、**協調性**が大事。自分の持つものを人が必要としていたりする。より良く問題を解決していけるようにしたい。



2. 第1回グループ発表 (4)七城公民館 (1/2)

①10年後、どんなまちに住みたいですか？に対するグループ発表

- ・楽しくて生活しやすいまち。
- ・子どもから高齢者まで暮らしやすいまち。食べ物は地産地消、自給自足できるまち。
- ・地域に若者や子供がいるまち。私は23歳だが、仕事がないから同級生が出て行っている。多様な仕事があるまち。
- ・落ち着いた雰囲気のあるまち。介護が必要な人、障がいを持つ人でも、みんなが住みやすい、つながりが持てるような社会。



13

2. 第1回グループ発表 (4)七城公民館 (2/2)

②「ありたい姿」実現のために明日からなにをしますか？に対するグループ発表

- ・自分は65歳、仲間づくりをしていきたい。何十年もやってきたワークショップの中で一番楽しかった。同じテーブルにきてくれた高校生が素晴らしかった。交流の機会を今後も持ちたい。
- ・自分にできることをやっていく。ごみを削減できるときは削減する。
- ・今日のワークショップは若い方がいてありがたかった。いろんな人と会話して、何ができるか考えたい。未来へ向けて考える時間を持ちたい。
- ・菊池市の良いことを発信していきたい。周りへの配慮を意識する、大人の心の余裕を持ち続けたい。

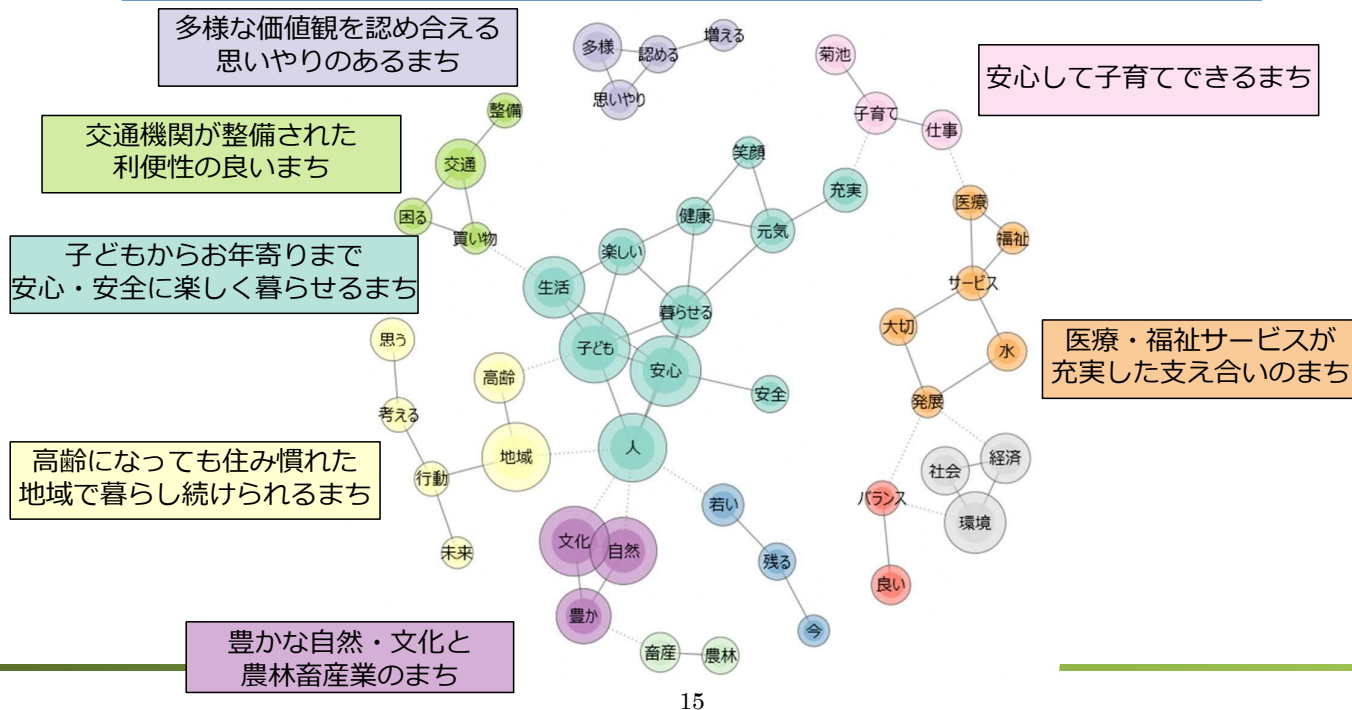


14

3. 第1回自由コメント分析 (1) 菊池市のありたい姿

- 市民が求める「ありたい姿」についての自由コメントからキーワードをグループ分けすると「多様な価値観を認め合える思いやりのあるまち」「交通機関が整備された利便性の良いまち」「子どもからお年寄りまで安心・安全に楽しく暮らせるまち」「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるまち」「豊かな自然・文化と農林畜産業のまち」「医療・福祉サービスが充実した支え合いのまち」「安心して子育てできるまち」にまとめられる。

10年後、どんなまちに住みたいですか？に対する自由コメント分析

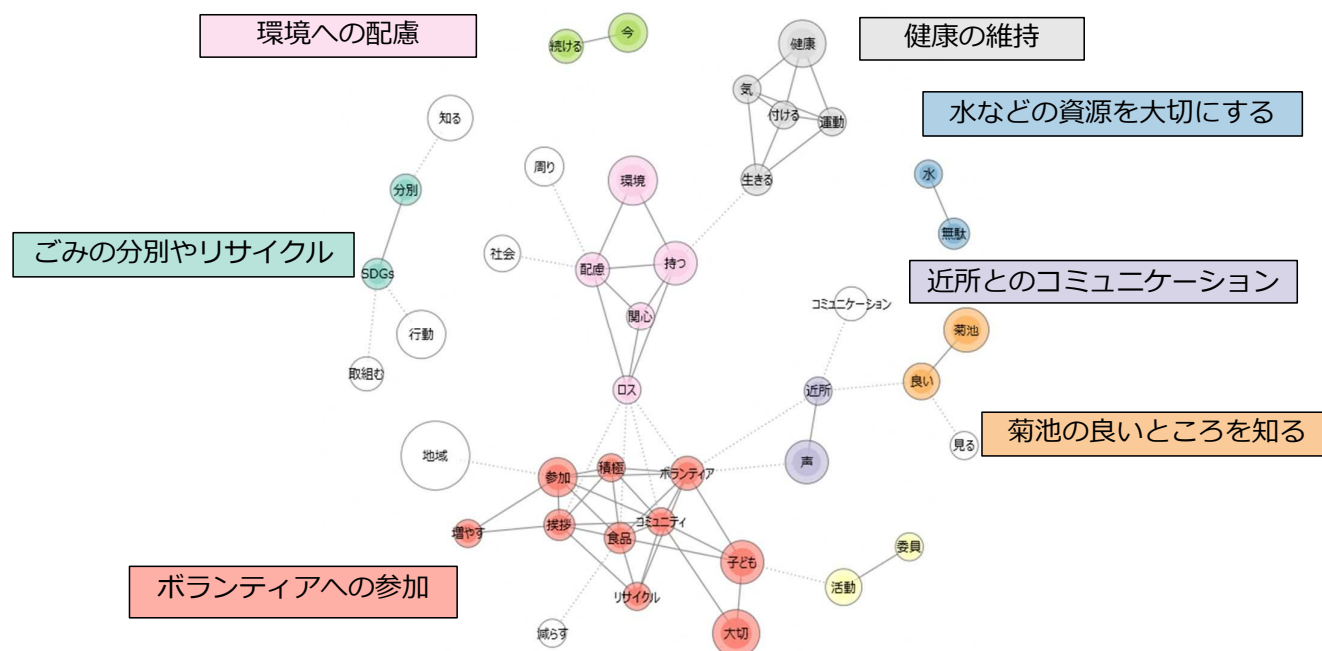


15

3. 第1回自由コメント分析 (2) ありたい姿実現のためになにをするか

- 市民が求める「ありたい姿実現のためになにをするか」についての自由コメントからキーワードをグループ分けすると「環境への配慮」「ごみの分別やりサイクル」「ボランティアへの参加」「菊池の良いところを知る」「近所とのコミュニケーション」「水などの資源を大切にする」「健康の維持」にまとめられる。

ありたい姿実現のためになにをするかに対する自由コメント分析



16

4. 第1回ワークショップまとめ

- 市民が求める市の「**ありたい姿**」を下に示す5つの分野に整理。
- 第2回ワークショップでは、これらの「**ありたい姿**」に対し、「**ありたい姿から連想されるまち**」、「**ありたい姿実現のための課題**」、「**課題解決のためにパートナーシップでできること**」を深掘り。

市民が求める市の「ありたい姿」

- ①多様な価値観を認め合える思いやりのあるまち
「人権教育（啓発）」「男女共同参画」「多文化共生」「移住定住」
- ②子どもからお年寄りまで安心・安全に楽しく暮らせるまち
「生涯学習」「健康・医療・福祉」「住環境・公共交通」「防犯・防災」
- ③豊かな自然・文化を活かした人が集まるまち
「自然環境保全」「歴史・文化の継承」「景観美化」「情報発信」
- ④魅力的な仕事が創り出す活力あふれるまち
「商工観光業の振興」「農林畜産業の振興」「企業誘致」
- ⑤次代を担う人財を地域全体で育むまち
「仕事と子育ての両立」「子育て環境の整備」「地域の協力」「学校教育」

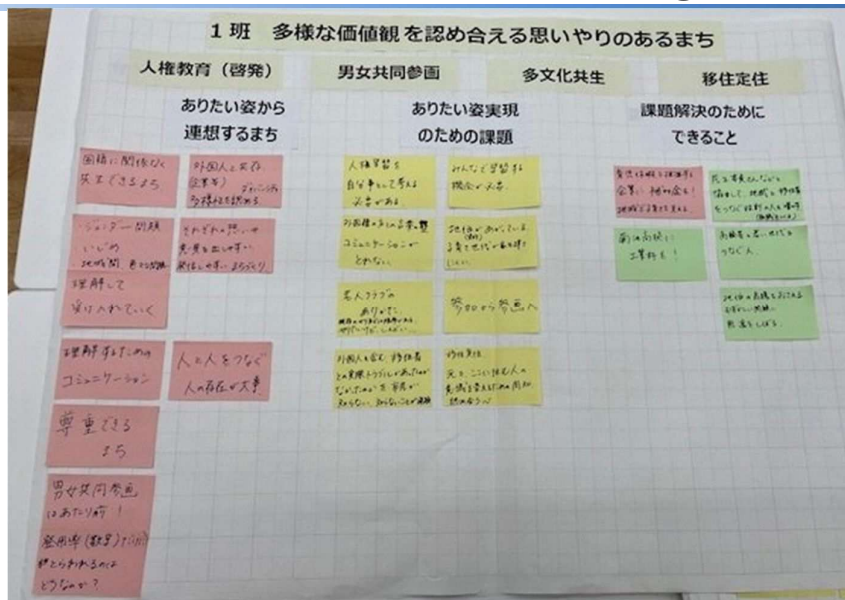
第2回ワークショップでは、
①**ありたい姿から連想されるまち**
②**ありたい姿実現のための課題**
③**課題解決のためにパートナーシップでできること** を深掘り

5. 第2回ワークショップ開催概要

第2回

開催日時	11/17(日) 10:00～12:00	11/17(日) 14:00～16:00
場所	キクロス	泗水公民館
参加人数	27名	26名
内容	(1)第1回ワークショップ振り返り (2)未来の菊池市を考える ①第1回で検討した「 ありたい姿 」から 連想されるまち を考える ②「 ありたい姿 」実現のための 課題 を考える ②課題解決のために「 パートナーシップでできること 」を考える	

6. 第2回グループ発表 (1)キクロス ①1班



1班: 多様な価値観を認め合える思いやりのあるまち

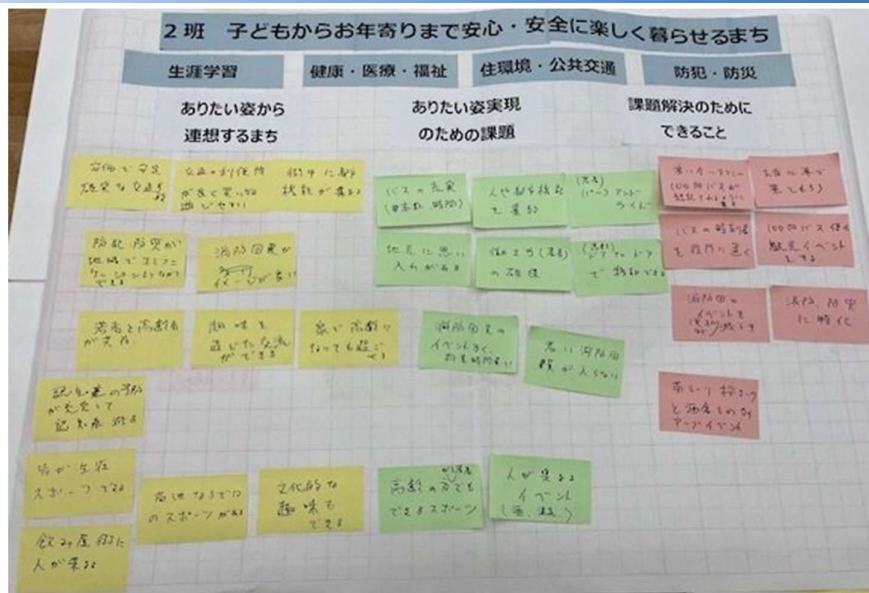
ありたい姿から連想されるのは、**国籍に関係なく、多様性を認め、理解して受け入れていく共存のまち**。各人の想いや意見を伝えやすいまち。**人と人をつなぐひとの存在が大事**。

課題は、**多様な価値観があることを皆が自分事として考える必要があること**。また、**学習する機会**も必要。いじめなどの問題もあり、コミュニケーションが取れていない。地価が上がっていて、**子育て世代が家建てにくくなっている**。外国人移住者とのトラブルの有無を気にしている人もいいため、**もともと住んでいる人の価値観も変える必要がある**。

課題解決のため民生委員以外にも**地域と移住者をつなぐような新たな組織が必要**。また、**地価の高騰を抑える、用途を絞る**なども効果があるかもしれない。**育児休暇の取得などに対して企業に補助金をだすなど、地域で支える仕組みがあると良い**。**菊池高校に工業科を作ってみてはどうか**。

19

6. 第2回グループ発表 (1)キクロス ②2班



2班: 子どもからお年寄りまで安心・安全に楽しく暮らせるまち

ありたい姿から連想されるのは、**まずバスなど公共交通が充実し、高齢の方がドアtoドアで移動できるまち**。消防団員になりたい人が増えると良い。**若者と高齢者が一緒にできるスポーツがあるまち**。飲み屋街に人が集まるイベントが開催されるまち。

ありたい姿実現のために**100円バスがある状況を維持していく**。バスの時刻を市役所に置くなどで利用者を増やす。観光イベントも開催。消防団のイベントを減らし負担を減らす。**100円バスと観光資源を活かしたタイアップイベントがあると面白い**と思った。

20

6. 第2回グループ発表 (1)キクロス ③3班



3班: 豊かな自然・文化を活かした人が集まるまち

自然環境保全などについて話し合った。菊池は**歴史も文化も農業も自然が根幹になっており、住民は心まで豊か**。移住定住を進めるにしても、長い歴史で培った、農業や自然・文化は切り離せない。

その豊かさを次の世代に残していくために**担い手**をどうするのが課題。農業の担い手が減るとともに、温暖化や工場の開発などで社会が変わったことで、小学校区が広がってしまい住民同士の関わりが薄くなった。**地域文化の継承も十分にできておらず、イベントへの参加も少なくなっている**。また、自然環境の変化に農業も対応する必要がある。**温暖化で農作物の生産が難しくなっていることに加え、鳥獣害もある**。**地域への愛着を育むために歴史・文化を学ぶ場が必要**。

解決のために一番必要なことは**行政や企業、住民をマッチングできる仕組み**。市外市内問わず興味がある人に対して情報が届く、**集まるような情報発信**ができると良い。子どもたちに菊池の良さを伝えるためには、**企業の協力体制、例えば企業の社員教育の一環とする**などが考えられる。わからないことは専門家とも協力できる。小さなことからでもできることに取り組みみんなで良くしていきたい。

21

6. 第2回グループ発表 (1)キクロス ④4班



4班: 魅力的な仕事が創り出す活力あふれるまち

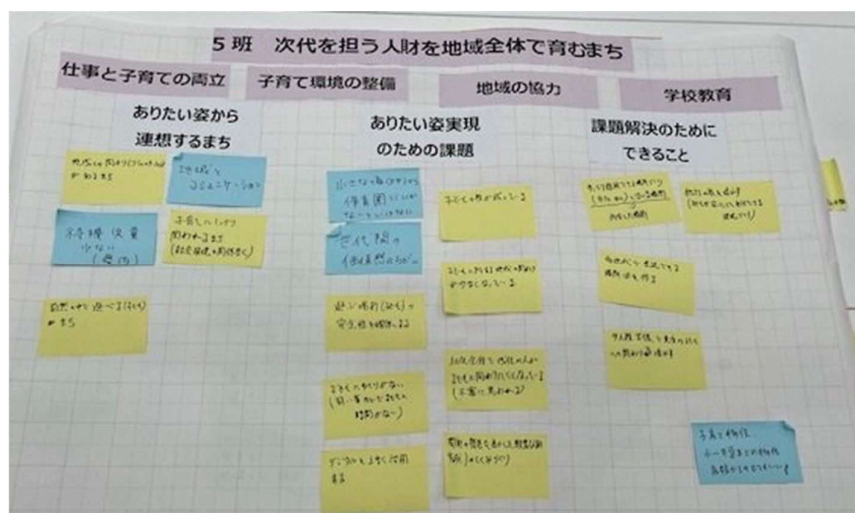
主に産業振興の視点から考えた。特に商工観光と農林畜産について話し合った。もっと**人が泊まりたい、住みたい、若い人にとっても魅力あるまち**にしたい。

現実には、**市民の中で魅力が共有されていない**、熊本市や県外だけでなく限府にもあるのに発信が足りていないのではと感じる。農林畜産については**遊休耕作地の問題、技術の継承**の課題がある。

農業については、**農業経営者が都市部と情報共有すると、ノウハウの伝授や、機械によるスマート化、新ビジネス創出**につながるかもしれない。また、菊池のことを知ってもらうために**街中を回遊するイベント**を作ることも考えられる。地域の魅力を伝えるまち歩きやべりカーの活用など。宿がないことについては、空き家を活用した交流、民泊などでカバーできそう。

22

6. 第2回グループ発表 (1)キクロス ⑤5班



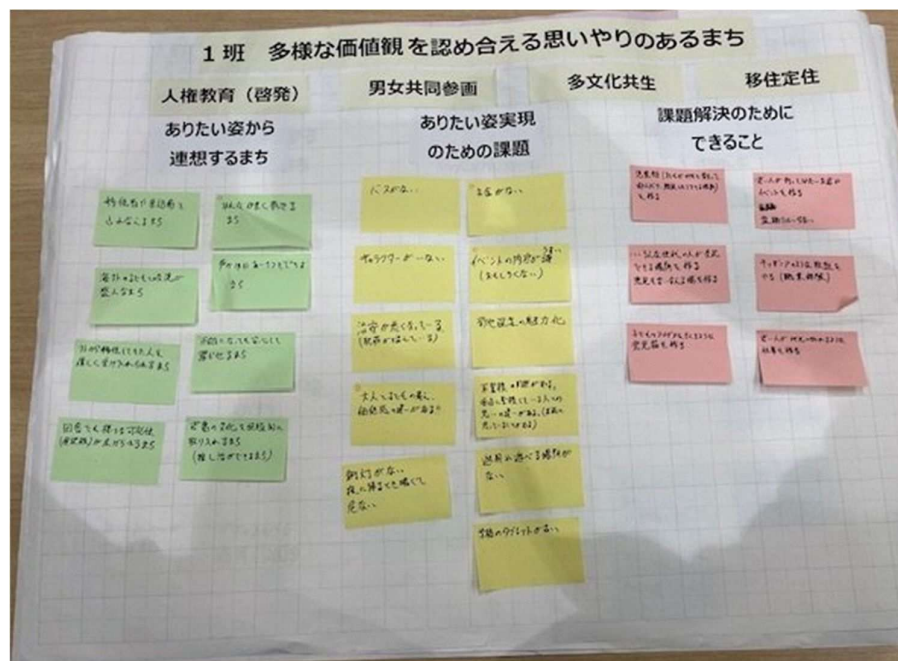
5班：次代を担う人材を地域全体で育むまち

ありたい姿で連想するまちは地域の周りの人とコミュニケーションがあるまち。家の中だけでなく、**自然の中で遊べる**まち。遊ぶ場所の安全が確保できていないように感じる。

地域と関わる事ができていないので、**勉強ができ、遊びもでき、交流もできるような場所**があると実現できそう。

23

6. 第2回グループ発表 (2)泗水公民館 ①1班

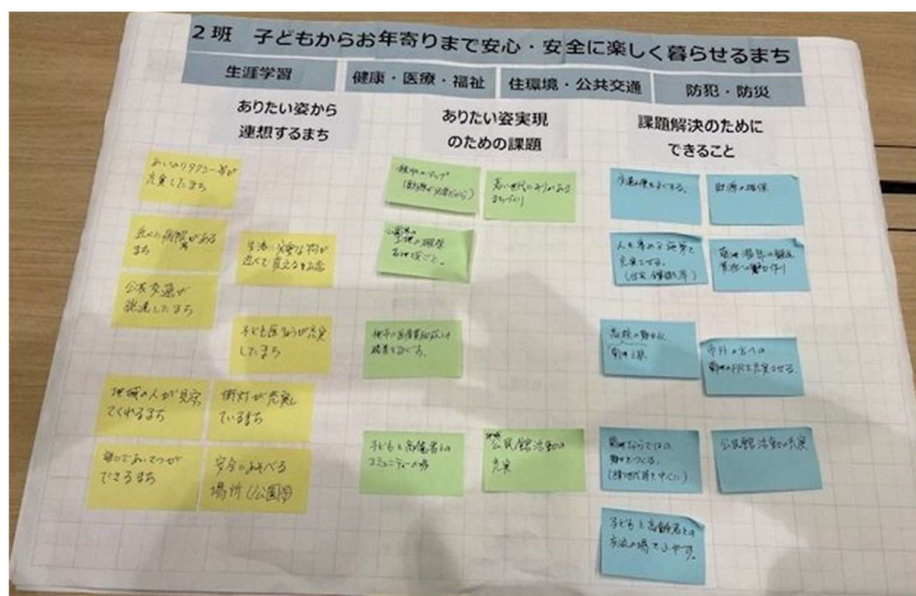


1班：多様な価値観を認め合える思いやりのあるまち

みんなが仲良く、**高齢になっても安心な、新しい価値観を受け入れる**まち。イベントがあまり面白くない。**色々な人が交流できる場**が必要だと感じる。

24

6. 第2回グループ発表 (2) 泗水公民館 ②2班

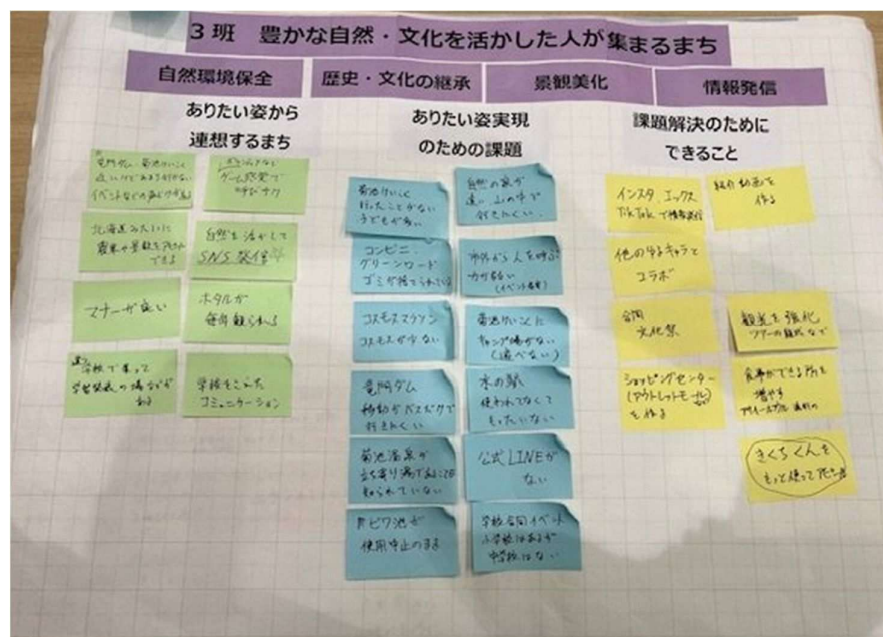


2班: 子どもからお年寄りまで安心・安全に楽しく暮らせるまち

地域の人が見守ってくれる、誰でもあいさつができるまちに住みたい。子供と高齢者のコミュニケーション、菊池ならではの魅力を作る、交流の場をつくる必要がある。

25

6. 第2回グループ発表 (2) 泗水公民館 ③3班

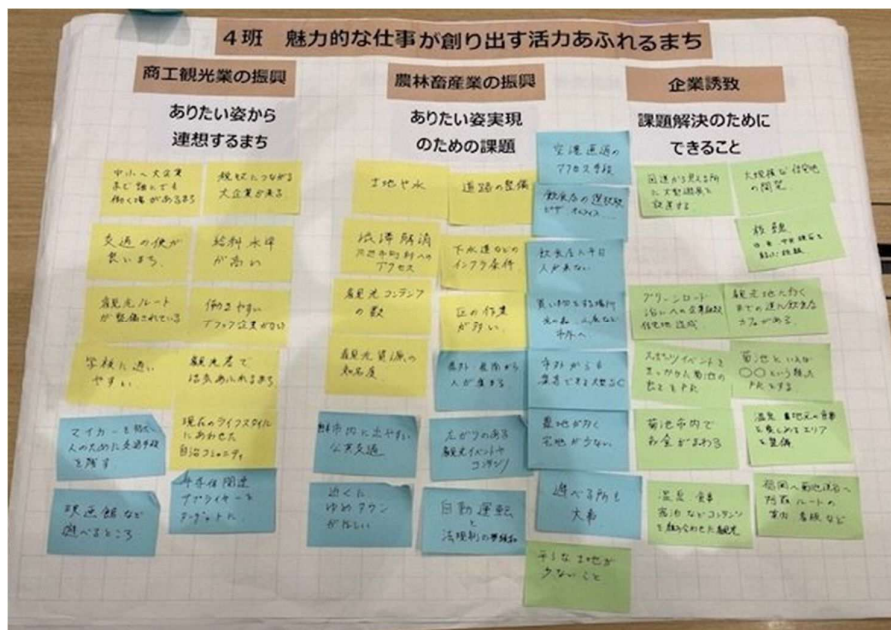


3班: 豊かな自然・文化を活かした人が集まるまち

竜門ダムや菊池溪谷など観光地に近いとは思いますが、若者はあまり行くことがない。豊かな自然を活かしていろいろな遊びができるとSNSで発信することが必要。「きくちくん」をもっと使って発信する。課題は市内の交通手段が少ないので移動がしにくいこと。中学校が合同で文化祭をするなどできると楽しい人も集まると思う。

26

6. 第2回グループ発表 (2) 泗水公民館 ④4班



4班: 魅力的な仕事が創り出す活力あふれるまち

渋滞がなく、交通の便がよいまちを作れば大企業がくるのではないかと思います。熊本市にいくための公共交通手段が少ないので、大規模な住宅開発などで人を増やし、交通機関の利用者を増やすことができれば良い。

27

6. 第2回グループ発表 (2) 泗水公民館 ⑤5班



5班: 次代を担う人材を地域全体で育むまち

近隣住民との交流が多い、コミュニケーションが多いまちに住みたい。長期休みに行けることも食堂があるといい。住民同士がつながる場所やイベントが多くあってほしい。菊池市で働く人の給料を上げると自然と人が集まりそう。

28

以上
